

令和2年度 事業報告

I 概況

我が国の令和2年度の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、感染拡大防止のために国内の経済社会活動の抑制を余儀なくされ、その後は主要貿易相手国における経済活動停止で輸出が大幅に減少する等、甚大な影響を受けました。

また、全国的に構造的な生産年齢人口の減少が続いている中、少子高齢化が進み、その対策が喫緊の課題となっており、呉市も高齢化率が35.3%に達し、政府の方針にもあるとおり高齢者世代を活用する施策の強力な展開が望まれます。

このような中、令和元年度に西日本豪雨災害前を超える伸びとなっていた契約金額は、請負契約から派遣契約への移行及びコロナ禍の影響と思われる受注減少により前年度を下回っております。

会員数の動向につきましては、企業の定年延長や再雇用制度の整備浸透の影響がありますが、多少は落ち着いて来たものと思われまます。

今後ますます進行する超高齢化社会における社会的需要に応じて行くためシルバー事業の強化・充実に向けて、体制の整備とともに営業・企画力の底上げを図る必要があります。

○ 事業実績の推移

年度 区分	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
受託 件数	件 5,463	件 5,547	件 5,235	件 5,237	件 4,849
会員数	人 672	人 688	人 662	人 665	人 665
就業 実人員	人 553	人 544	人 525	人 512	人 481
就業 延人日	人日 62,499	人日 62,505	人日 59,905	人日 59,890	人日 56,618
契約 金額	千円 309,371	千円 313,566	千円 304,912	千円 318,312	千円 303,332

以下、主要事項について報告します。

1 会員の拡大

会員の拡大はシルバーの大きな課題の一つであり、減り続けている会員数に歯止めをかけるため、各種講習会の実施をはじめ広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を推進し会員の勧誘に努めました。

今年度は、市役所本庁舎1階ロビーほか各市民センターフロアへ「シルバー広報チラシ」を配置し、市民の方への広報に努めました。

この1年間の入会者及び退会者は113人の同数で、年度末の会員数は665人で前年度末の会員数を維持することができました。(該当する事業1—1・4—5)

2 就業開拓及び就業率の向上

就業開拓は、会員の拡大とともにセンターの維持発展のための大きな柱です。職員が事業所を訪問し、仕事の依頼を行いました。また、就業率の向上については、就業に必要な知識、技能を習得するための各種講習会を開催し、幅広い職種を選べるよう就業機会の拡大に努めました。

就業率は、72.3%で前年度より4.7ポイント減少しております。(該当する事業1—1)

3 独自事業の推進・開拓

独自事業として、「再生自転車の販売」事業を継続し、住民の方の要望に応えるとともに、資源の再利用に努めました。

再生自転車事業の売上高は73台で475,400円になっております。これは前年度に比べ18台減少しております。

また、新たな事業の開拓について研究・検討を行いました。(該当する事業1—1)

4 安全・適正就業の推進

安全就業は、シルバー人材センターにとって最も優先する課題です。

今年度も安全管理委員会及び安全パトロールを計画しておりましたが、コロナ禍により中止を余儀なくされました。

しかし、剪定及び除草の職群別に安全就業講習会を実施し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図り、重篤事故等の防止に取り組みました。

また、会員の事故防止を啓発するため、安全標語の募集を行いました。

本年度の事故状況は、傷害事故2件、損害事故6件発生しました。前年度に比べ6件減少しております。

今後、安全就業について、より一層取り組みを強化し、事故防止に努力します。

適正就業については、法令遵守の徹底とともに、ローテーション就業の促進、

長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。(該当する事業4—(2))

5 研修会・講習会の開催

シルバー会員の仕事に対する地域社会の信頼確保には、知識、技能の習得と向上は欠かすことの出来ない要件です。

会員の技能習得と新規会員の勧誘を目的に、「草刈機取扱い講習会」を開催し、呉市の広報紙「市政だよりくれ」で募集した受講生にはシルバー加入を勧めました。

会員の技能向上のため、パソコン・スマホ指導者養成講座を実施しました。

また広島県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業による技能講習会に会員が参加しました。(該当する事業3)

6 労働者派遣事業の推進

シルバー事業の「臨時、短期、軽易」な仕事という基本に立ち返り、受託事業の自主点検による適正就業を遵守するとともに、業務の拡大に努めました。(該当する事業2—(2))

7 福祉・家事援助サービスの推進

一人暮らしや、高齢者世帯が年々増加し、また、女性の就労促進が課題となっている現在、福祉、家事援助サービス及び子育て支援等の業務の拡大や、それらに習熟した女性会員の拡充が重要です。

本年度は前年度に引続き、市が主催する「呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体」に参加しました。(該当する事業1—1・4—(3)(4))

8 普及啓発活動の推進

毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、呉駅前周辺、ゆめタウン前において街頭キャンペーンを実施し、チラシ、パンフレット等を配り普及啓発活動を行いました。

また、呉市の広報紙「市政だよりくれ」への記事掲載、シルバーの広報紙「呉シルバーだより」の発行並びに呉市全世帯に配布された「市民暮らしのガイドくれ」に広告ページを掲載するなど広報活動に努めました。

9月には呉海軍墓地合同追悼式に向けての長迫公園(旧呉海軍墓地)の清掃・剪定奉仕活動を行い、その模様がNHKのニュースで報道される等、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。

なお、本年度は当シルバー人材センター設立40周年に当たるため、「記念誌あゆみ」を発行するとともに、会員及び関係諸団体へ配布するなどシルバー活動の周知に努めました。(該当する事業4—(1)(6))